

すみだSDGs



割れてしまったガラスや
製造過程で生まれる
廃棄するガラスを、新しい美へ



廣田硝子株式会社

URL : <https://hirota-glass.co.jp/>

業種 : 製造業 所在地 : 〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-6-5

電話番号 : 03-3623-4145 FAX番号 : 03-3623-8892

Eメール : hirota-g@hirota-glass.co.jp

審査員からのコメント

ガラス工場が多い墨田区において廃棄ガラスの問題に取り組む姿勢を評価しました。
電子カタログに掲載されている商品とリサイクルガラスとの関係などをアピールできるとさらに良いと思います。

地場産業の新たな発展につながる価値のある技術であり、人目に付く店舗壁面など公共の場に設置する
取り組みは透明性や宣伝効果が高い点を評価しました。

該当するSDGsの目標



事業者・団体として2030年までのあるべき姿

当社で販売しているガラス食器が破損した際、
そのガラスを回収し違う形への使用も含め、
天然素材であるガラスの素材に関する新たな取り組みを推進していく

活動の目的、背景

「割れてしまったガラスや製造過程で生まれる廃棄するガラスを、新しい美に変えられないだろうか？」
廣田硝子の新しい挑戦は、そんな想いから始まりました。私たち「廣田硝子」は、長年にわたりガラスと向き合い、ものづくりを続けてきました。しかし、その日々の製造及び検品工程で製造上やむを得ず生まれる「ロス」や破損等がどうしても出てしまいます。「この砕かれたガラスたちを、ただ捨ててしまうのではなく、もう一度命を吹き込みたい。」という想いから始まりました。

活動内容

2021年、リサイクルガラスの研究が始まりました。破片の大きさや色の違い、透明感を保つための温度管理など課題は多く、試行錯誤の日々が続きました。転機は、窯の端に残ったガラス片が熱によって偶然「まん丸で透明な粒」になった瞬間でした。その水滴のような美しさに着想を得て、アクセサリー「白雫(hakuRe)」が誕生。使われなくなったガラスに新たな価値を与える取り組みとして、現在はアクセサリー販売を行っています。

また、自社1階店舗を改装した際、使われなくなったガラス片の角を熱で丸め、ガラススタイルとして壁面に活用しています。



今後の展望

ガラス食器や製造工程で廃棄されるガラスをガラススタイルのような建築資材として再利用する例は珍しく、色鮮やかで江戸切子の破片を含む点が特長です。

まずは自社店舗で事例を創出し、将来的には関連業界へ展開することで、廃棄ガラス削減を目指します。